



子どもたちに先立たれても 人生の終末は心豊かに

新潟市西蒲区 武田正さん(83歳) 澄子さん(80歳)

二人で看板屋を始めて——(澄子さんの話)

私は名古屋で一人娘として生まれました。父は昭和18年に出征したまま戻らず、当時3歳だった私に記憶はありません。終戦後母は私を連れて故郷新潟に戻り、再婚しました。その相手は東京大空襲で家族を失くして新潟に戻った人で、酒に溺れ毎日のように母と私は殴られました。ようやく逃げ出した母は、私を実家に預けて働きました。翌年中学を卒業した私は、住み込みで働いて貯金しました。そして夜学の専門学校に通い、調理師資格を得て病院で働きました。その後23歳で主人と結婚、2人で看板屋を始めました。

第一子の長男を身ごもったとき母がガンで入院し、その看病で私が無理したせいか長男は早産で亡くなりました。母は回復しましたが72歳で亡くなり、そのときにお墓を求めたのが妙光寺様とのご縁です。

その後東京で働いていた長女が15年前亡くなり、それから年老いた主人の一人で働く姿を見かねた独身の次男が、看板屋を手伝ってくれるようになりました。その息子がある日具合が悪いと言って病院に行ったら、ガンが全身に転移していて即日入院と言われ、10日後に亡くなりました。2年前のことです。まだ47歳でした。大きなショックでした。

(院首記)(2ページに続く)

妙の光

復刊113号



行事案内



お彼岸中日法要

9月22日(火・祝)

午前10時30分 安穏廟法要
11時 秋季彼岸会
中日法要(本堂)
12時 おとき(当日受付)
午後1時 住職法話
※どなたでも、ゆっくりお参りいただけます。



お会式と第18回法号授与式

11月7日(土)

午前9時 法号授与者研修
11時 お会式、法号授与式
12時 おとき
午後1時 住職法話
※詳細は別紙ご案内をご覧ください。
え、同封のハガキでお申し込みください。



七五三詣り

11月15日(日)

午前10時30分 受付
11時 ご祈祷
お子さん、お孫さんの健康やかな成長を願い、七五三のご祈祷をいたします。
※詳細は別紙ご案内をご覧ください。
え、同封のハガキでお申し込みください。



合同法事

12月6日(日)

今年、^{ねんかいき}年回忌(法事)が当たっていたけれど都合でできなかったという方のために、合同の年回忌法要を営みます。檀信徒・安穏会員どなたでも。

午後2時 受付
2時30分 法要
3時30分 銘々で墓参り

費用：●塔婆1霊位 2千円

●お供物共通経費 2千円 ●お布施

持物：位牌、墓参用の花、ロウソク、線香

※11月30日までに電話、FAX、メール等でお申し込みください。参列は平服でどうぞ。

月例信行会 毎月第1日曜日

10月4日(日)、11月1日(日)、12月6日(日)

毎月第1日曜日 朝 7時～9時
会費 1,000円(各自さい銭箱へお願いします)
※予約不要。当日お寺へ直接お越しください。お参り、法話、作務、朝粥の朝食とコーヒータイムがあります。

月例ボランティア 毎月15日

午前9時から11時半。
午後1時～3時
主に本堂清掃等をお願いしています。都合の良い時間にお越しください。昼食はご持参ください。



年会費口座引き落としについて

年会費口座引き落としの手続きをされた方は、10月20日～27日の間に指定の口座から引き落としをさせていただきます。口座残高のご確認をよろしくお願いいたします。特にご希望が無ければ通帳への記載をもって受領書の発行は省略させていただきます。

「秋の一日研修」はお休みします

感染症対策を徹底させたいので「春の一日研修」から再開の予定です。今春コロナ禍でやむやみ中止になった「日蓮聖人ゆかりの寺院参拝の旅」を実施予定です。お楽しみに。



「お寺でヨガ」は春までお休みします

4月から第3木曜日で再開の予定です。

あ と が き

今夏の〆送り盆は、思いがけないリモート配信となりました。配信の話が出たのは5月初めでした。その後の4か月間、院首様を先頭に中心スタッフの苦労は並大抵ではなく、技術的な課題も次々に生じ、配信終了後には涙を流すスタッフの姿もありました。平均年齢は高めですが、まるで青春のようでした。動画は今も、妙光寺ホームページから見るができます。ご覧ください。

来夏は、必ず例年通りに境内で皆様とお会いしたいと願っています。その日まで、どうぞお元気で過ごしてください。(新倉理恵子)

新潟市西蒲区 武田正さん(83歳) 澄子さん(80歳)

家族ともども苦勞の連続
——(正さんの話)

私は絵を描くことが好きで、高卒で看板屋に弟子入りしたんです。頑張つて親方に認めてもらい10年目に独立しました。最初は妻と2人でお客さんを探して歩きました。資金もないのに手形で不渡り受けて、材料屋の支払いを延ばしてもらうなど苦勞の連続でした。それでも育てた2人の弟子は17年ずつ勤めてくれました。

ただ私は7人兄弟の五男で、親代わりみたいな長男夫婦は私を婿に出す腹つもりでした。だから私らの結婚に反対で、結婚式にも出てくれませんでした。それでも妻は自分には親戚がいらないからと、私の実家を大事にしました。農作業が忙しい時は、調理師の腕を活かして食事作りの手伝いにも通いました。それでもなかなか認めてもらえず、妻にも子どもた

ちにも辛い思いをさせました。一方でペンキ屋だったすぐ上の兄夫婦は、本当によくしてくれてお客さんを随分と紹介してもらいました。

これからの生き方に悩んで
——(澄子さんの話)

子供3人に先立たれてこれからどうすれば良いのか2人で悩みました。長女の死後お寺の研修会に2回参加してお経の練習もしました。そのとき院首様の奥様なぎささんに「大丈夫ですか？」って肩を支えていただいたのです。幼いころから家族の愛情をあまり受けたことがない私です。泣き出したくらいうれしくて感激しました。あの優しさは忘れられません。

またフェスティバル安穩の講演で遺言や成年後見のお話を聞いたことも思い浮かび、主人とお寺に相談に伺ったのです。「金額の多少に関わりなく、子供のいない夫婦

はすぐに遺言書を書く。徐々に仕事を減らす。自分のことが出来なくなる前に任意後見や尊厳死の希望、死後の事務委任の手続きを進める」と、院首様に助言いただき背中を押された思いでした。

早速公証役場に行きましたが話が専門的過ぎて理解できませんでした。市役所の相談窓口は日程が合わないのです。思い余つて私の従弟夫婦に相談したら、「できることはするから心配するな」と言ってもらい安心しました。でも私に近い年代なので全ては頼れません。悩みながら民間の終活相続セミナーに参加したら、わかりやすかつたのです。2人で相談して、その行政書士と社会福祉士にお願ひしました。

私たちの遺産は後始末してくれる従弟夫婦、お世話になった妙光寺様、社会福祉に贈ると遺言しました。そして主人への感謝の気持ちを加えていただきました。公証

役場で書類に印鑑を押したとき、本当にスーと肩の力が抜けてとても軽やかな気持ちになりました。

人生の幕引きを楽しみたい
——(正さんの話)

息子の死後、取引先には大きな仕事はできないと伝えました。でも長いお付き合いで新潟の大企業になったお客さんも多く、はがき一枚という訳にいきません。あと1〜2年、小さな仕事をさせてもらいながらお札を伝えて仕事の幕引きをしようと思っています。

私も公証役場で印鑑を押し妻に感謝を伝えて、気が楽になりました。足が軽やかになった気がするのは、間違いなく気持ちが楽になったせいです。仕事ばかりの人生だったので夫婦で旅行をしたことがありません。これからは人生の幕引きのために、2人の楽しい思い出作りをしようと語り合っています。(院首記)

安 穩

猫を飼い始めました 小川良恵



猫の「三重子」との出会い

巣ごもり需要の一環で、ペットショップが繁盛していると聞きました。犬や猫だけではなく、金魚や熱帯魚なども人気のようです。

私もステイホームの影響で……というわけではありませんが、猫を飼い始めました。雨の降りしきる夜中、外でニャーニャーと声が聞こえる日が続く、さすがに気になって境内を探したところ、見つけた子です。三重塔のところにいたので、三重子と名付けました。

ずっと犬派だった我が家ですが、前の犬・もん太と別れてから3年が経ちました。これも縁と、慣れない子猫の飼育に戸惑いつつ楽しい日々を送っています。妹た

ちが「もん太ちゃんに許可は取ったの？」などと聞いてくるので、もん太にはお墓参りをして報告しました。

ペット用安穩廟

ご存じの方も多いと思いますが、妙光寺には「ペット用安穩廟」があります。安穩廟の契約時には、必要に応じて説明させていただいています。先日新規で契約された方が、「この子にも自分の入るお墓を見せようと思って来ました」と飼い犬を連れ、あらためてご家族で来寺されました。散歩がてらに犬連れでお参りに来られる方も近年増えていますが、お墓を見せるために……というのは初めてでした。驚きつつも温かい気持ちになりました。お寺で飼っていた犬のもん太が眠っているのも、同じお墓です。『ペット用安穩廟』には、お盆やお彼岸の時期以外でもお供えのお花が絶

えることがあります。

ペットの葬儀

年に数度、「ペットのお葬式をしてもらえますか？」と聞かれることがあります。人と同じ形式でのお葬儀は出来ませんが、読経しての供養はいつでもお受けしています。

法華経の教えでは、特別な才能のある者以外であっても、すべての生きとし生けるものは成仏できる。すなわち仏様に成ることが出来ると説いています。そのため種となるのが、『南無妙法蓮華経』のお題目です。お題目によって仏様の教えに出会い、縁が結ばれることを下種結縁といいます。ペット供養の折には「家族の唱える『南無妙法蓮華経』のお題目が、毛や口の穴から身体に染み込んで、自分では唱えられない動物の代わりになる」という回向をお唱えしています。

◆万燈の灯り・妙光寺の送り盆―第31回フェスティバル安穩 8月29日



午前9時、緊張感漂う打合せ会議。



墓地の常経が午後1時から4時半まで続きます。



1時台の配信が炎天下で始まりました。



住職のご挨拶。



3時台には総代さんのご挨拶が配信されました。



本堂での「送り盆法要」、代表して地元檀信徒の皆さんが参列しました。



灯籠が新たに山林部分にも広げて灯されました。



篠笛の音色と灯籠の灯り、読み上げられたメッセージが心に染みました。



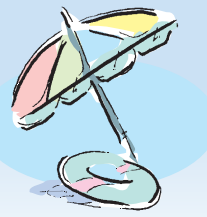
400基の灯籠が沢筋の水面に映り、浄土を思わせる美しさ。



午後7時、一日を締めくくる鼓童の奉納演奏。



寺のうごき夏



◆お盆参り(墓参り、施餓鬼法要、新盆法要) 8月1、2、9、10日



4日間に分散した結果、合計で例年以上のお参りでした。



涼しい間に朝日を浴びてのお墓参り。



雨の日もありました。



墓地合同法要。



本堂で卒塔婆を並べての施餓鬼法要、新盆法要も4日間行いました。

◆岩屋七面様祭礼 8月19日



本堂での法要 例年より少ない寂しい祭礼でした。



猛暑の中、岩屋に移動。



岩屋での法要。



参列の皆さんに供養されたお昼。

—新潟大学名誉教授・橋本博文先生に聞く—

前方後円墳から描く古代の角田浜

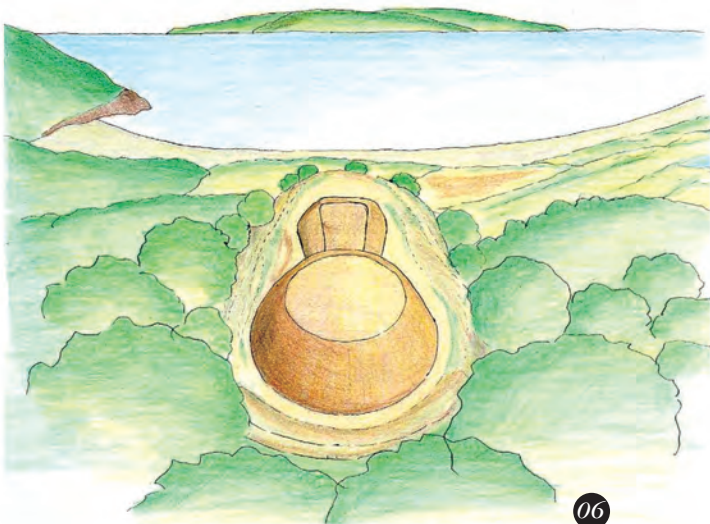
昨秋、妙光寺境内から登る山の中腹で、前方後円墳が発見されました。

古墳時代前期（4世紀）のもので、日本海に面した前方後円墳としては最北に位置しているそうです。

コロナ禍の中、今年4月初めから2ヶ月間、境内から急峻な山道を20分登った尾根で

断続的に測量調査が行われてきました。調査の指揮をとった橋本先生に、お話をうかがいました。

新発見の前方後円墳のイメージ
正面は佐渡、左に角田岬を望む
新潟市歴史博物館副館長 小林隆幸氏作画



要があると確信しました。

Q その後の調査はどんなふうに進んだのですか？

橋本 実は岡山の澤田先生や藤原さんが5月の連休に新潟に来て、一緒に測量をするという計画を立てていました。でも岡山はあまりに遠い上に新型コロナウイルスの問題が起こつてしまい、とりあえず新潟のメンバーで測量調査を始めることにしました。新潟大学から測量機器をお借りして、私が会長をしている市民団体・文化財保存新潟県協議会と、以前館長をしていた新大旭町学術資料展示館友の会の有志が中心になって調査を始めました。本当は新大の学生も参加を希望していたのですが、コロナで参加できなくなったのは残念でした。



橋本博文先生（67歳）
群馬県太田市出身。専門は日本考古学。とくに古墳時代の居館（豪族の館）が研究テーマ。新潟大学名誉教授。

Q まず、今回の古墳発見のいきさつを聞かせてください。

橋本 昨年の9月8日、岡山県作陽短大の澤田秀実先生からメールを受け取りました。倉敷埋蔵文化財センターの藤原好二さんが、国土地理院の傾斜量図（地表面の傾斜を表した図）を観察していて、菖蒲塚古墳近くの角田山麓で前方後円形の起伏に気づいたということです。ついでに現地を確認してほしいということで、メールを受け取った1週間後くらいに妙光寺に伺つて、ご住職や院首さまと一緒に現地に行きました。草むらをかき分けて登っていくと前方部の先が見えて、ひと目で自然の地形ではなく人工物だということがわかりました。測量して学問的に検討する必

Q 今後の調査は、どのように進められていくのでしょうか？

橋本 実は、今回の古墳の周辺に他にも墳墓があるのではないか、という話が出ています。菖蒲塚古墳の隣には隼人塚古墳という円墳があり、先行または後続する首長（有力者）の墓とも臣下の墓とも考えられます。この古墳の周辺には先代や先々代の人物の墓がある可能性は高いでしょう。見つければ秋以降に測量をしたいものです。次に古墳そのものの発掘ですが、これは難しい問題です。発掘は一種の破壊になりますから、気軽に掘ることはできません。県や市の関係機関と連絡を取り合いながら進めていかなくてはならないでしょう。

Q 地域全体の宝ものですね。

橋本 古墳は古代の人からのメッセージです。地域の宝として大切にしてください。群馬や九州では町おこしと結びつけた「古墳まつり」も行われています。できれば新潟でもそういう活動を通して、一人でも多くの方に文化財への関心を持つてもらうことが私の夢です。

Q お寺で古墳講座をしていただきました。いつも考えています。

橋本 是非やりたいですね。コロナ禍が終息したら、みなさんに調査の報告をしたいと思っています。

楽しみです。よろしくお願ひ致します。

（聴いた人 編集部・新倉理恵子）

表現されているのです。

Q 今回の調査でわかったことを教えてください。

橋本 全長は48m、後円部径32m、前方部幅は17mです。後円部の高さは海に面する側は8m、山側が3mあります。新潟県内では3番目の大きさですが、古墳時代前期中頃のものとしては県内で一番大きい古墳です。海側の土を盛って墓を造り、海側に平坦な広場が造られています。ここで祭祀（神々や祖先、被葬者——埋葬された人物——を祀る儀式）を行ったのでしょう。埋葬は円丘の中央に行われますが、円丘の山側に墓道（棺を上げる道）があり、堅穴式の墓であることがわかります。埴輪がある古墳も多いのですが、ここには埴輪はなさそうです。土器や副葬品があると正確な年代がわかりますが、今回は測量だけです。よくわかりませんが、今後発掘が行われれば棺や土器・副葬品で詳しいことがわかるでしょう。

Q 前方後円墳があるのは、浜に集落があったということですか？

橋本 山の上に造るというのは下から仰ぎ見るということになると思うのですが、では集落があったかというところ、そこはよくわかりません。私はむしろ、この古墳が角田岬を回つてくると見える海上交通のランドマークだったのではないかと考えています。海から見える古墳には、大阪・大山

た。でも妙光寺の院首さまと若いお坊さんたちかなり手伝っていただいて助かりました。

Q 今回の測量調査の目的は何ですか？

橋本 まず人工物だということをはっきりさせることです。また造られた時代を調べていく。そして形を確定させることでヤマト王権との関わり——政治的な関係もあきらかにできます。

Q 形でいろいろなことがわかるんですね。

橋本 わかります。そもそも弥生時代に、墳丘墓というのが造られていました。その小高い墓がしだいに発達して、3世紀中頃に前方後円墳や前方後方墳が造られるようになります。古墳時代とされるのは、3世紀中頃から7世紀です。3世紀半ばに造られた最古の巨大前方後円墳は、奈良県桜井市にある箸墓古墳です。私はこれを卑弥呼の墓と考えているのですが、全長は280m、高さは26mもあります。前方後円墳という形は基本的には王墓で、ヤマト王権（大和朝廷）とのつながりが強い豪族に許された形だと考えられています。前方後方墳の「外様」に対して前方後円墳は「親藩・譜代」だという表現をする研究者もいます。この地域の古墳も観音山古墳は円墳で山谷古墳は前方後方墳ですが、菖蒲塚古墳は前方後円墳です。古墳には当時の人々の政治的な関係や地位が

法華経 『法師品第十』

願って此世に生まれ

『法師品第十』から『安樂行品第十四』までの五品は、
法華経前半部である迹門の流通分、といい、
後世に教を残すための方法や心構えが説かれています。
同時に、後半部である本門へ至る大切な過程です。
日蓮聖人はこの法師品からの諸品をことに重視し、教義や信行を建てられました。

法師とはどのような人か

法師とは、サンスクリット語で「法を説く人」という意味ですが、「仏法を弘める者」を表わしています。

受持読誦解説書写

仏陀はまず、数多の菩薩に対して、法華経の教えをわずかでも聞いて一瞬でも感激する者には全て成仏の保証を与える、と宣言されました。

また、誰であろうと、「受持・読・誦・解説・書写」つまり、経典を覚えて読み聞かせ、理解して、書き写す修行をする者は、

すでに過去世において悟りを成し遂げた菩薩なのだと明かされます。また仏法を敬い、花やお香、音楽等を供養する者がいたとすれば、彼らもまた菩薩なのだと明かすのです。

法師は仏の使者

彼らはすでに自分は仏に成ることが出来るにも関わらず、生きとし生けるものを慈しむ為に、あえて今世で人間として生まれ、法華経を説きます。「願って此世に生まれ」たのです。仏が滅した後に、たった一人のためにでも法華経を弘める者こそが、仏の使者であると讃えられています。

角田山妙光寺インフォメーション

コロナ禍での 行事再開について

4月から行事を変則的な開催にし、秋以降の通常開催を期してきました。第二波と言われた夏の感染拡大も山を超えたと報道されていますので、徐々に一部の再開を予定しています。詳細は12ページをご覧ください。

この度の感染拡大では感染した方が「中傷ビラを撒かれた」とか、「引越しせざるを得なくなった」等周囲の心ない言動が報道されました。しかし近辺で耳にした話は全て根も葉もない噂話が発端でした。人と人との直接的な関わりの大切さを改めて感じています。感染を予防すると同時に、冷静さを保つ心の健康も心がけたいものです。

『浄土基金』現況報告

現況を別表にてご報告申し上げます。
2014年の客殿屋根張替え工事を機に、維持管理費を捻出することともに、一

『浄土基金』収支は、毎年の役員会議で報告承認済です。

浄土基金年度別収入

2014(平成26)年度	39,335,384
2015(平成27)年度	9,268,256
2016(平成28)年度	3,879,500
2017(平成29)年度	1,274,500
2018(平成30)年度	3,321,000
2019(令和 1)年度	5,265,870
2020(令和 2)年度	2,368,400
累積総合計	64,712,910円

*2014年9月、客殿屋根改修工事を機に『基金』を開始しました。2020年度は4月～8月末までの金額です。(口座振替予定分を含む)

*一括の寄付、遺贈のほか、年会費への加算でご協力いただいています。

支出の主な項目

- 客殿屋根改修工事(25,268,000円)
- 客殿改修工事(土間石張り、玄関受付、事務室、山務員控室、大広間の天井と照明と戸、玄関廊下板、裏廊下板、参籠棟トイレ)
- 台所エアコン設置
- 講堂エアコン入替
- 参道舗装工事
- 駐車場照明交換
- 鬼子母神像修復
- 浄土講座開催費
- 東北大学実践宗教学講座寄付
- 古墳調査寄付
- 京住院畳替
- 三重塔土台改修
- 檀徒用安穩廟新設
- 法灯継承式補助
- 寺宝掛軸修復

現在の残高

11,068,093円 (8月末現在)

層皆様に安らぎを提供できる寺であり続けるため、『浄土基金』を提案させていただきます。お陰様で初年度から継続して多くのご協力をいただき、建物と境内の改修工事・浄土講座開設等を安定的に行うことが可能になりました。感謝申し上げます。

- 今後さらに参道舗装、本堂隣接の山林整備、参道脇の手水舎屋根新設、樹木の補植と管理等々の計画があります。整備することで日常の管理負担を軽減することもできます。
- 浄土講座はコロナ禍で開催できずいますが、次の先生方からご快諾いただき、コロナ終息を待って開催の予定です。
- 橋本博文先生 (新潟大学名誉教授考古学)
- 『古墳調査報告』
- 今井洋介先生 (県立ガンセンター内科部長)
- 『病と宗教』
- 立石雅昭先生 (新潟大学名誉教授地質学)
- 『原発問題の今』



修復なった江戸時代の「鬼子母神像」

妙光寺発案の『浄土基金』という考え方は、現在いくつかのお寺でも採用されて喜ばれています。どうぞ引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

15年前、安穩会員に

ひとり娘の私は、結婚した時から実家の墓をなんとかしてはと思っていた。無縁墓にするのは忍びなかったからだ。幸い夫の両親と私の母は仲が良く、一緒のお墓に入ろうということで15年前に安穩会員になった。

改葬のきっかけは義父の納骨

義父が亡くなって安穩廟に納骨した時から、実家の墓の改葬を考えるようになった。私が大学生の時に亡くなった父をはじめ祖父母等5人が埋葬されている。いずれやるつもりなら、早めにした方がいい。母の同意も得られて動き出したのは2014年の秋だった。

まず新潟市役所へ：そして大田区役所にも

実家の墓は新潟市にあるので、新潟市役所へ「改葬許可申請書」を取りに行った。意外だったのは、死亡者の「死亡年月日」が必要だったこと。42年前の祖母となると、記憶もやや曖昧だった。わからなければ「不詳」とか「10月ごろ」でも良いとのことだったが、この際調べることにした。祖父母の本籍は東京大田区にあるので、大田区役所から郵送で戸籍謄本を取り寄せた。



次に実家の墓がある寺へ

それからお寺にお願いに伺った。「角田の妙光寺さんなら安心ですね」と言つて無事に捺印していただき、墓石の撤去と収骨をお願いした。3月にお骨を受け取りに行く。お布施と墓石撤去の実費を納めた。市役所に「申請書」を提出し「許可証」を受け取った。

そして親戚に連絡

墓が隣に並んでいる本家とは年賀状だけの付き合いになっていた。さすがに何も言わなければ驚くだろうと、母が電話をする。「改葬するなら安心だ」と喜んでくれた。次に父の姉にあたる伯母にも連絡する。伯母にとっては両親の墓である。

思い立ってから半年後に納骨

約半年後の2015年4月、東京在住の伯母と従姉も立ち会って、安穩廟に納骨した。「私は一家の生き残りだから見届けなくちゃ。良いお墓ね。ホッとしたわ」と伯母は言った。その伯母は、今年の春施設に入った。早く決断してから伯母に来てもらえたわけだ。無事に改葬を終えて、なんとなく先祖様に守られたような気がしている。



Q 妙光寺への改葬（遺骨の移動）を考えています。どうすれば良いでしょうか？

改葬を行うためには、「^{ぼちまいそうほう}墓地埋葬法」に基づく手続きが必要です。

墓地のある自治体で『改葬許可申請書』を受け取り（郵送もあります）、埋葬されている故人の氏名や命日の記入をして墓地管理者（現在の墓地がある寺院等）から証明してもらいます。その際、墓石の撤去や費用等の打ち合わせをして下さい。書類が揃いましたら自治体に提出して、『墓地改葬許可証』の発行を受けます。この時、引越し先の墓地の証明書を求められる場合がありますから、妙光寺の『墓地使用権利書』を提示してください。

墓地管理者や親族へは手続きを進める前に、あらかじめ相談しておきましょう。寺院墓地ならば、原則そのお寺の檀家になっています。檀家を止めて墓地を返還することは、「信教の自由」として憲法に定められていて、管理費の滞納が無限り拒否されることはありません。また、いわゆる「離檀料」も不要です。ただ、これまで檀家として長年お付き合いのあったことを踏まえて、感謝の意思を伝え、出来る範囲での御礼を納めることで、後々の禍根にならないかと思います。

きちんと墓じまいをせずに放置をされるのは、墓地管理者も困ることです。トラブルになる可能性は低いと思いますが、万が一納得できない費用を請求された場合は、対応方法がありますので妙光寺にご相談下さい。